

【エフエムさいき第 24 回放送番組審議会議事録】

1. 開催年月日
令和 7 年 11 月 27 日（木曜日） 10 時 30 分～

2. 開催場所
エフエムさいき

3. 出席者
委員 高橋 治人
委員 日高 澄子
委員 山城 紀久夫
委員 谷川 憲一
委員 岩田 寿子
(以上、敬称略)

エフエムさいき
代表取締役 御手洗 和子
局長 金田 利充
総務部統括 衛藤 純子

4. 会議次第

- ・ 代表取締役挨拶 (御手洗)
- ・ 審議対象番組説明 (衛藤)
- ・ 番組に対する審議 (審議委員)
- ・ 質疑応答

< 番組審議内容 >

■対象番組：「本匠はたっぴいラジオ」

放送日時：毎月第 3・第 4 木曜日 14 時放送

再放送：第 3 土・日 18 時

審議対象：令和 7 年 10 月 16 日 14 時放送

■番組出演者：本匠中学校生徒

■番組内容

佐伯市本匠の魅力を発信することを目的とし、本匠地域創生支援事業推進協議会(本匠振興局)の提供で令和 7 年 10 月よりスタートした新番組です。「本匠ほたっぴいラジオ」という番組名は、本匠の代表的な魅力の一つであるほたるを活用しました。

〈審議委員意見〉

- ・ この放送は聞きました。とても良かったです。蒲江地域もこのような発信が出来れば良いなと思った。
- ・ 佐伯市内の小・中・高校では地域を教材にした地域に根差した教育を行っており、ラジオで放送する事はとてもいい番組と思われる。
- ・ 高校・大学を出て一度は都会に出るが、最近では自分が生まれ育ったふるさとに U ターンする若者が徐々にではあるが増えてきており、このような番組は地域を見直すきっかけになると思う。
- ・ 本匠小・中学校が小規模特認校に指定されたことに対する生徒達の反応や受け入れる姿勢が非常に前向きで良かった。
- ・ 今回の「ほたっぴいラジオ」を制作するきっかけは？

(事務局)

本匠振興局から、本匠の魅力を発信する放送をラジオを使って出来ないかという相談を受けました。

- ・ こういう番組を放送することが、コミュニティーラジオの役割に繋がるのではないと思われる。

〈エフエムさいき〉

- ・ 今回の番組では、地元の中学生在がふるさとの魅力を考えて自身の声で、CM として制作放送する事。ここに力を入れています。
このことから、生徒が自分の地域の魅力を再発見するとともに、発信力を高める素晴らしい機会となっています。
- ・ 次回出演者は、農産物の加工販売を手掛けている有限会社きらりと加工所匠の方です。正月用の餅やお饅頭など本匠の食の魅力をお話しします。